

2009年12月10日

各 位

三井化学株式会社
中国石油化工有限公司

フェノール及びEPTの合弁事業に関する意向書等の締結について

三井化学株式会社（以下、三井化学 本社：日本東京都港区、社長：田中稔一）と中国石油化工有限公司（以下、Sinopec 本社：中国北京市、総裁：王天普）は12月8日、フェノール及びアセトンについては、「新設プロジェクトに関する覚書」、EPT（エチレン・プロピレン・ジエン共重合ゴム※1）については、「合弁事業推進のためのF Sに関する意向書」を締結しましたのでお知らせ致します。

三井化学とSinopecはフェノール及びアセトンの新たなプラント建設により、原料から誘導品（ビスフェノールAなど）までの一貫競争力をもった世界有数のフェノール及びアセトンのコンプレックスが実現できます。一方、中国での自動車産業の急速な拡大を背景に大幅な増加が見込まれるEPTの需要を満足するため、双方のそれぞれの強みを活かし、国際競争力のあるEPT合弁会社の設立を目指します。

フェノール・アセトン及びEPTの合弁プロジェクトの概要については、以下のとおりです。なお、これらによる設備投資額の合計は、600億円規模に達する予定です。

< フェノール及びアセトン合弁プロジェクトの概要 >

1. 所在地：中国上海市・上海化学工業区
2. 合弁会社：上海中石化三井化工有限公司（以下、SSMC）※2にて実施
3. 生産能力：新設 フェノール年産25万トン、アセトン年産15万トン
※併せて、上海中石化高橋分公司の既設プラント（フェノール：年産12.5万トン、アセトン：年産7.5万トン）を、SSMCに統合します。
4. 新プラントプロセス（フェノールプロセス）：三井化学技術
5. 営業運転開始時期：2013年第2四半期

< EPT合弁プロジェクトの概要 >

1. 所在地：中国上海市・上海化学工業区
2. 合弁会社：出資比率50：50の新会社を設立
3. 生産能力：年産7.5万トン
4. 新プラントプロセス：三井化学技術
5. 完工時期：2013年第4四半期

以 上

(※1) EPT：耐候、耐オゾン性、耐熱・耐寒性、電機特性、耐化学薬品性に優れており、自動車部品、電線ケーブル、その他工業部品に幅広く使用されています

(※2) 上海中石化三井化工有限公司 (SSMC)：2006年設立の三井化学、Sinopec 両社折半出資のビスフェノールA合弁会社。同社は、本年1月に年産12万トンのプラントを稼働させております。

＝本件に関するお問い合わせ先＝

三井化学株式会社 広報部長 裾分 啓士 電話：03-6253-2100

中国石油化工股份有限公司 弁公庁 王皓 電話：86-10-59969720

Sinopec 及び三井化学の概要

<中国石油化工股份有限公司>

- ・ 主な事業内容：石油・ガス採掘事業、石油精製事業（ガソリン、軽油他燃料、潤滑油、溶剤、WAX、石化原料等）、化学品事業（オレフィン、合成樹脂・ゴム、合成繊維原料、合成繊維、尿素等）、エンジニアリング（石油・ガス採掘、石油精製プラント、化学プラント）
- ・ 08年売上高：1兆4,521億人民元
- ・ 株主資本：186億ドル（ニューヨーク、ロンドン、香港株式市場に上場）
- ・ 従業員数：42万人
- ・ 所在地（本社）：中国北京市朝陽区朝陽門北大街22号

<三井化学>

- ・ 主な事業内容：機能材料事業（自動車・産業材、生活・エネルギー材、電子・情報材、ポリウレタン材料、コーティング・機能材）、先端化学品事業（精密化学品、農業化学品）、基礎化学品事業（基礎原料、フェノール、PTA・PET、工業薬品、ポリオレフィン）
- ・ 08年度売上高：1兆4,876億円
- ・ 資本金：103,226百万円
- ・ 従業員数：12,964名（連結）
- ・ 所在地（本社）：日本国東京都港区東新橋1-5-2汐留シティセンター

調印式（左：三井化学 田中社長、右：Sinopec 王総裁）

